

いずみさの
教 育



問合せ先
学校教育課

学校給食における食物アレルギー対応について

食物アレルギーのある児童生徒に対し、公益財団法人 日本学校保健会が発行した「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づく対応を実施しています。そこで、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」に基づく対応が重要

ですので、当該児童生徒の保護者には「管理指導表」の提出に協力をお願いしています。学校給食における食物アレルギー対応の基本的な考え方は、食物アレルギーに関して確実にできる対応を正確に行うことです。

【情報の提供】
食物アレルギー対応の基本は、正確に情報提供を行うことです。毎月の予定献立表に、たまごや乳製品を含む食材に☆や■のマークを記載しています。加工食品については、原材料の詳細を明記した「加工食品明細表」を希望される保護者に配付しています。

【給食費の一部減額】
主食や牛乳については、給食で提供する頻度が高いため、申請書と「管理指導表」のコピー

の提出により、相当額を減額しています。

【代替品の提供】

食物アレルギーを持つ児童生徒が給食を楽しめ、食べやすくなることをめざし、つきものなどについては代替品の提供を行います。

【緊急時の対応】

事故予防をしても、事故は起きうるものという考え方を共有し、緊急時には、特定の教職員だけでなく、誰もがアドレナリン自己注射薬（エピペン）の使用を含めた対応ができるように、日ごろから学校全体での取組が必要です。

本市では、学校医部会の専門医の指導のもと、アナフィラキシー発症時の緊急対応について、「エピペン練習キット」を使用して教職員に研修を実施しています。アレルギー対応の周知徹底を図るため、一人でも多くの教職員が、食物アレルギーについての認識を深めるよう努めています。



学校園紹介



心を育てる体験活動を通して、つながりを強める
～佐野台小学校～

【校内音楽会・PTA教育講演会】 10月4日(土)



今年は、大切な耐震工事のため、2学期の大きな行事である校内音楽会をエブノ泉の森小ホールをお借りして実施しました。当日は、会場いっぱいこどもたちの歌声や演奏が響き、日ごろお世話になっている地域の方々や、福祉団体、保護者のみなさんにこどもたちのがんばっている姿を見ていただく事ができました。前半は校内音楽会、後半はPTA教育講演会で、6年生のミニ落語とプロの落語家さんによる落語で、大いに会場が盛り上がりました。素人とは思えないほど堂々とした6年生の姿に驚いたひと時でした。



人前で発表したり、歌ったり、自己表現をする機会をたくさん経験する事は、大きな自信につながります。自信をもつ事で、人とのコミュニケーションも積極的にとれるようになると思います。佐野台小は、専門的な分野で活躍されるゲストティーチャーに来て頂く事で、自己表現ができる機会をより多くもてるようにしています。たくさんの人と関わりあいながら「学びの芽」を増やしてほしいと願っています。

【持久走大会】 12月12日(金)

雨上がりでまだ少し運動場もやわらかいところもありましたが、こどもたちのモチベーションを考慮して持久走大会を実施しました。最後まであきらめずに完走し、こどもたちのやりきった顔が、見ている者に元気をあたえてくれました。



「最後まであきらめずにやりきる」
3学期もがんばろう！

子どもたちをつなぐ話し合い活動
～第二小学校～

第二小学校では、「人間性豊かな児童の育成」を学校教育目標に、教育活動に取り組んでいます。児童数は764人です。学級数は、1～3、5・6年生が4学級、4年生が3学級、支援学級が4学級の計27学級です。

特色ある教育活動としては、
●子どもたちの学力を高める取組として、話し合い活動を取り入れた学習を中心に、「言葉を大切にし、自ら考え、自ら表現し、伝え合う子どもたちを育てる」を研究主題に据え、研究を進めています。

●「早寝・早起き・朝ごはん」の取組から発展した「二小 伸びる子 10の力」という目標を掲げ、「生活をつくる力」「学ぶ力」「社会力（仲よくする力）」を育んでいます。

●「セカンドステップ」学習を通じて、コミュニケーション力を向上させ、問題解決能力を育成しています。

●「学習発表会」や「二小フェスティバル」などの行事で、友だちと協力する意識や、発信しようとする姿勢を育てています。

●国際理解教育に力を入れ、「外国語活動」を通じて言葉や文化について、音楽やゲームも取り入れながら体験的に理解を深めています。

